

# 自己点検・評価表(2022モデル Ver. 2.0)

実施日: 令和5年5月1日

学校名: 学校法人 京都外国語大学 京都外国語専門学校

## ・始めに

今年度より、一般社団法人 全国専門学校教育研究会による「自己点検・評価【共通の評価基準モデル2022】」を利用して、評価を実施することとした。カテゴリーについては、職業実践課程に向けて、Bカテゴリーも意識しながら、一般的な専門学校を対象としたAカテゴリーのみ表示することとした。評価の、数字は以下の通り。適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1

## 1. 学校の教育目標

「アジアを学ぶ」をテーマに誕生した本校は、京都外国語大学のグループ校として、建学の精神「言語を通して世界の平和を」を掲げ、実践的で堪能な外国語能力の養成を図り、その能力を基盤として、多様な社会の要請に即応し得る専門的技能を修得させるとともに、常に人格の陶冶に努め、広く海外文化に通じ、幅広い国際的感覚と国際社会人としての豊かな人間性を身につけた、社会に貢献し得る人材を育成することを目的としている。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 学科の再構築  
京都外国語専門学校創立25年間の総括として、英中韓を中心に次代につながる基盤作りとして、学科の再構築を行う。
- 京都外国語大学グループ内の連携強化(高専大の連携)  
・京都外国語大学が目指す多言語教育の一翼を担うために、アジア圏の言語(中国語、韓国語、朝鮮語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)を中心とした学びの場の提供。  
・高・専・大(京都外大西高等学校、京都外国語専門学校、京都外国語大学)の連携の下に、複数言語の修得が目指せる教育システムの構築。  
・ネイティブ教員を中心に、「話す」「書く」のいわゆる実践力の能力開発を行い、京都外国語大学へ編入させることで、大学の質の向上に貢献する。
- IT環境整備  
アフターコロナに向けての取り組みとして、遠隔授業と対面授業の特長を生かしながら、より効率的なカリキュラムによる授業が提供できる環境作りを行う。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標・育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)					
1	1	1	A	④	3	2	1	寄附行為又は定款、学則その他教育上の目的を定めた規程、HP、学生便覧
1	1	2	A	④	3	2	1	学校・学科(理念・目的)を紹介するパンフレット、HP、KIGS、学生便覧、学生の手引き
1	2	中項目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)					
1	2	1	A	④	3	2	1	HP、学生便覧、実習要項、教育課程編成委員会議事録
1	2	2	A	4	③	2	1	ニーズ調査アンケート、教育課程編成委員会議事録、就職担当者の報告書、学校関係者評価委員会議事録、HP
1	2	3	A	4	③	2	1	学生便覧、HP、KIGS(シラバス)、学則別表2

### ① 課題

学校法人としての建学の精神に基づき、外国語教育を行っているが、一部の科目を除いては、直接的に職業に直結するものではない。本校としては、卒業後に社会との関わりを持っていくためには、外国語教育を通して修得できる「社会人として必要な基礎力」、すなわち、「前に踏み出す力」・「チームで働く力」・「考え抜く力」などを見据えて、能力開発をどのように行っていくのが課題となる。

### ② 今後の改善方策

- ・課題を踏まえ、本校卒業生進路の主なものに、大学編入学があり、希望学生に編入後に活かせる専門分野への橋渡しの科目等を整備して行く。
- ・インターンシップなどを増やして、社会との関わりを積極的に持たせる。

### ③ 特記事項

2 学校運営			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス
2	1	中項目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)					
2	1	1	A	4	③	2	1	事業計画書、出講案内、理事会議事録
2	2	中項目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)					
2	2	1	A	4	③	2	1	事業計画書、理事会・評議員会の議事録
2	2	2	A	④	3	2	1	事業計画、学年暦
2	3	中項目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)					
2	3	1	A	④	3	2	1	学校法人京都外国語大学事務分掌規程、学校法人京都外国語大学常任理事会規程、学校法人京都外国語大学評議員会運営規定
2	3	2	A	④	3	2	1	学校法人京都外国語大学事務分掌規程、学校法人京都外国語大学常任理事会規程、学校法人京都外国語大学評議員会運営規定
2	3	3	A	④	3	2	1	組織図、校務分掌表

2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	出勤簿、勤務予定表、就業規則
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	教職員健康診断の案内、教職員健康診断実施記録、就業規則、衛生委員会議事録
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	施設設備保守・管理点検表
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	京都外国語専門学校常勤講師の任用などに関する規程、京都外国語専門学校非常勤規程
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	③	2	1	
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	④	3	2	1	FD委員会議事録、フィードバック記録、授業アンケート
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	③	2	1	常勤教員会議議事録、学科会議議事録
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	③	2	1	FD委員会議事録
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	A	4	③	2	1	教員評価記録
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	就業規則、教職員定年規程、職員人事評価・処遇制度、専門学校常勤講師人事評価・処遇制度
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	給与規程、退職給与規程、旅費規程
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	A	④	3	2	1	Teams、LINE WORKS、KICS

① 課題

- ・学校運営については、学校法人京都外国語大学の各種規定に基づいて運営されている。学校運営方針等は、年度当初の講師会において発表され、共有している。専門学校部門においては、情報公開が遅れている箇所もあり、今後適切な対応が必要である。
- ・職業実践専門課程の申請などを旨とするに当たり、業界などとの連携を意識して関係構築をしていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・各種データの一元管理(効率的に運用)できるシステムの整備を検討を行う。
- ・職業実践専門課程を申請する場合、企業との連携が不可欠のため、企業実習等を積極的に取り組める方策を準備する。

③ 特記事項

3 教育活動			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス
3	1	中項目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	④	3	2	1	カリキュラムポリシー、HP、学生便覧、教育課程編成委員会議事録、出講案内
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	4	③	2	1	カリキュラムマップ、カリキュラム
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	4	③	2	1	カリキュラムマップ、カリキュラム、履修要項、KICS(シラバス)
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	KICS(シラバス)
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	A	④	3	2	1	評価マニュアル、授業評価報告書、成績評価基準に関する教員間の申し合わせやその運用事実が分かる資料、出講案内、学生便覧
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	③	2	1	キャリア教育シラバス、実務経験教員シラバス

3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	成績評価に関する規程、授業科目履修規程、学生便覧、進級・卒業基準、判定会議議事録、出講案内
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	4	③	2	1	目標資格・検定試験一覧、KICS(シラバス)、講義概要、成績証明書、卒業証明書、カリキュラムマップ、学習計画、試験対策計画
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)						
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	③	2	1	高校受託授業、生涯学習講座の単位認定記録の記録

① 課題

- ・カリキュラムポリシーやディプロマポリシーを策定しており、それらに添って運用されている。外国語の専門学校として、今後求められる実務教育について、検討してきたスタディープログラムを定着させ、語学教育+αの京外専独自の人材育成プログラムを完成させる。
- ・質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察。
- ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発。
- ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組。

② 今後の改善方策

- ・高等学校学習指導要領改訂に伴い、特に英米語学科のカリキュラムの見直し。

③ 特記事項

4 学修成果・教育成果			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	③	2	1	修了試験成績一覧、期末試験成績一覧
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)						
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	A	④	3	2	1	就職関連指導シラバス、就職実績報告書
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	④	3	2	1	事業計画書、会議資料
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	A	④	3	2	1	資格試験結果報告書、資格・検定試験取得率の履歴
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	目標資格・検定一覧
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	A	4	③	2	1	卒業生調査、企業アンケート、企業等訪問記録、就職担当者訪問記録等

① 課題

- ・カリキュラムポリシーやディプロマポリシーを策定しており、それらに添って運用されている。外国語の専門学校として、今後求められる実務教育について、検討してきたスタディープログラムを定着させ、語学教育+αの京外専独自の人材育成プログラムを完成させる。
- ・京都外国語専門学校における卒業後の進路としては、就職者は約22%、進学者は約53%、留学などその他進路25%となっており、それぞれの進路を確保する必要がある。大学編入した学生の進路状況を詳細に把握できていないため、今後対応が必要と考える。卒業生組織として校友会などの設立も含め検討していきたい。

② 今後の改善方策

- ・校友会などの卒業生組織の設立(京都外国語大学の校友会との調整)。

③ 特記事項

5 学生支援			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	④	3	2	1	学生カルテ、学生指導履歴、個別相談表、修学支援の一環としての奨学金に関するHP
5	2	中項目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またはそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	A	④	3	2	1	学生便覧、オリエンテーション資料
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	④	3	2	1	学生便覧
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	募集要項、奨学金説明会資料
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	④	3	2	1	健康診断案内、年間行事予定表、学校医がいることを示す資料、健康相談窓口の案内



5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	③	2	1	課外活動(地域活動・部活動等)の記録、部活動の実績の記録
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアルバイト探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	④	3	2	1	募集要項、説明会記録、HP
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)						
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	A	④	3	2	1	退学防止の取り組み記録、退学状況の分析と対策記録
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	③	2	1	事業計画書
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)						
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	4	③	2	1	保護者面談案内、保護者会報告書、KICS保護者用ページ
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)						
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	③	2	1	パンフレット、HP

① 課題

- ・学科によっては中退率が高く、様々な対策を行っているが、さらなる検討が必要と考える。
- ・卒業後のリカレント教育についても課題として検討する必要がある。
- ・卒業生の相談には、卒業年度に関わらず対応することができている。
- ・近年合理的配慮が必要な学生が増えていることへの対応が急務となっている。

② 今後の改善方策

- ・学科再編を含め、社会人を対象とした講座などの検討を加える。
- ・合理的配慮が必要な学生の受け入れ態勢などの整備。
- ・SNS等の活用。

③ 特記事項

「京都府大学生等物価高騰対策緊急生活支援事業費補助金」の案内があり、昼食代補助事業を実施した。

6 教育環境			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	④	3	2	1	学校設置認可申請書、教室配置図、時間割、専修学校報告書
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	③	2	1	資産目録、図書台帳
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	4	③	2	1	各種設備・教育備品の一覧表及び点検票、管理体制の組織図
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	④	3	2	1	施設・設備の点検、補修計画書、点検・修繕の記録、電気設備点検記録報告書、電気設備定期点検報告書、建築物環境衛生管理報告書
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)						
6	2	1	学外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	学外実習時の実施要綱・マニュアル
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	危機管理マニュアル、気象警報による休講等の取扱いガイドライン
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	消防用設備点検報告書、警備業務請負契約書
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	③	2	1	防災訓練実施要項、防災訓練実施報告書

① 課題

防災訓練が出来なかった。

② 今後の改善方策

- ・年次計画として組み込むこと。
- ・特別講演会などで、防災に関する講演を実施する。

③ 特記事項

7 学生の受入れ募集			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	募集活動体制組織図、営業日報、パンフレット、オープンキャンパス用説明資料、募集要項、学校案内、HP
7	1	2	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	アドミッションポリシー、募集要項、パンフレット、HP
7	1	3	学校案内に、育人人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	パンフレット、HP
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	④	3	2	1	募集活動体制組織図、営業日報、学生募集要項、学校案内、パンフレット
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	④	3	2	1	校務分掌、HP、組織図

7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	④	3	2	1	オープンキャンパス配布資料、説明用資料、HP、募集要項
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	④	3	2	1	募集要項、学校案内
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選考を行っているか	A	④	3	2	1	入試基準、選考方法選考における実施体制、選考結果資料
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	募集要項
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	パンフレット、募集要項

① 課題

- ・アドミッションポリシーは策定されているが、基準5に述べられているように退学者が多いのが現状である。入学希望者に対する情報提供や、入学選考時の選考方法なども適切に対応する必要があると思われる。
- ・修学支援対象者に対する学費請求に関して、複雑になっている。

② 今後の改善方策

修学支援制度が発足以来、対象者には、入学時(学費徴収時)には、授業料は徴収せずに、入学後減免区分が確定後に、納付出来る等、便宜を図っていることの再度告知を徹底する。

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス		
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	法令遵守の研修報告書、教務日誌、専修学校設置基準チェック表
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	③	2	1	組織図、校務分掌表、内部規定類
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	④	3	2	1	個人情報保護規程、プライバシーポリシー、セキュリティポリシー等
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	④	3	2	1	個人情報保護規程、個人情報取扱規程
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書、改善計画書、改善報告書
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	④	3	2	1	教職員会議議事録
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	③	2	1	卒業生就業・離職状況調査報告書、是正報告書
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1	職業実践専門課程別紙様式4、HP
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	公表した冊子、自己点検・評価報告書、HP

① 課題

- ・自己評価・学校関係者評価までの実施ができたので、今後内容を充実させていく。課題から改善策へ、そして検証までの流れを整える。

② 今後の改善方策

- ・学校関係者評価について、今後はさらに多くの企業の皆さま、地域の皆さまのご意見を拜聴できる機会を整備する。
- ・経営基盤の安定に向けて中長期的な事業計画(学科変更等を含む)を早期に策定し、経営基盤の安定に努める。

③ 特記事項

9 財務			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス		
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	④	3	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	④	3	2	1	全体予算書、中期計画書
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	③	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)						

9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	会計監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	財務諸表、HP、財務書類等閲覧規程

① 課題

- ・財務に関しては、学校法人京都外国語大学の各種規定に基づいて運営されており、特に問題点は見受けられないが、部門の中長期の事業計画が策定できていない。
- ・収支予算は、全体計画に基づき適正に作成されている。
- ・会計監査は、適正に行われている。
- ・HPにおいて、財務諸表の公開がなされている。
- ・本校の設置者である学校法人京都外国語大学において、中長期的に財務基盤は安定している。予算・収支計画は毎年理事会、評議員会において承認されており有効かつ妥当なものとなっている。年末の決算においても適切な会計監査を受け、理事会・評議員会において承認されている。

② 今後の改善方針

経営基盤の安定に向けて中長期的な事業計画(学科改変等を含む)を早期に策定して、経営基盤の安定に努めるべきである。

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	③	2	1	年間行事予定表、利用案内、利用の記録
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	4	③	2	1	公共職業訓練等受託契約書、年間計画表
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	ボランティア活動支援体制に関する資料

① 課題

学生の社会との関わりを広げるために社会貢献やボランティア活動などを単位として認定できる制度を設けたが具体的な運用を検討するべき。

② 今後の改善方針

- ・社会貢献やボランティア活動などに学生が積極的に参加できるように、情報収集と公開を行う。
- ・「社会人として必要な基礎力」、すなわち、「前に踏み出す力」・「チームで働く力」・「考え抜く力」などを見据えて、能力開発をどのように行っていくか検討する。

③ 特記事項

11 国際交流			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)						
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	A	④	3	2	1	事業計画書、校務分掌表
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	④	3	2	1	入管提出書類一式、学籍、管理体制組織図、旅行傷害保険、リスク回避マニュアル
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	④	3	2	1	留学生活の手引き、組織図
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	A	4	③	2	1	留学生活の手引き、成績証明書(外国語併記様式)、HP、JLPT取得率、資格試験取得率、就職率、進学率

① 課題

交流事業については、少しずつではあるが拡大している。欧米圏の協定校が少ないので、今後検討する必要がある。

② 今後の改善方針

海外の短大、大学等との間で単位の互換が可能になるようにする。

③ 特記事項